扶桑菅廟最初

防府天満宮

佐加太利

佐加太利（さかたり）とは御鎮座地天神山の古来名「酒垂山（さかたりやま）」からとったものです

令和7年
春夏号
115号

目次

1 点描／夜の梅
2 巻頭言
3 式年大祭奉賛会第二回総会
御神忌1125年式年大祭記念
彬子女王殿下御台臨
4・5 賽銭箱奉納報告会
並渡り初め式
6・7 こころのふるさと
防府天満宮
～菅原神社（柳井天満宮）
春季大祭調査を通して～
8 キットカット
受験生応援キャンペーン
2025in防府天満宮
9 崇敬会だより
結婚おめでとう
おんな神輿写真コンテスト
10・11 社務所だより
天神様の冬から春～日誌抄～
12 これからの祭事行事案内

第六巻 9m20cm　第五巻 13m31cm　第四巻 12m12cm　第三巻 13m80cm　第二巻 14m30cm　第一巻 13m10cm

三十年目の「春」

宮司　鈴木宏明

今年の梅は咲き始めが一ヵ月近くも遅く、花の見頃は三月上旬になってからとなりました。梅見を待ちかねた方々から「咲きましたか」とか「いつ頃咲きますか」といった問い合わせも多く、私たちをやきもきさせてくれました。

＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊

本年三月二十二日、台湾の嘉義県政府より阿里山檜で製作した賽銭箱が奉納され、三笠宮家の彬子女王殿下のご台臨のもと、山口県知事を始め台湾からも多くのご来賓をお迎えし「奉納報告会並びに渡り初め式」が行われました。式年大祭まであと二年と迫る防府天満宮にとりましては歴史に残る「春」となりました。（本紙四・五ページ「賽銭箱改修事業」参照）。

「報告会」では彬子女王殿下より「おことば」を賜りました。その中で、九州へ渡られた道真公の絶望的な胸中を察せられ「だからこそ、都とはまだ陸続きである防府の地が惜別の地となり、一番に顕現されたのかもしれません」と防府天満宮の創建にお心を寄せて下さいました。

またこの度の賽銭箱について「普通に見える賽銭箱が左右に分かれる様子はまるで舞台装置を見ているよう」との賛辞を頂き、分かれることにより「天神様への道が開き、一番の近道でお会いできるというのは、多くの参拝客の皆様にとってどれだけのお喜びでありましょう」とお祝いのおことばを頂戴致しました。

続いてテープカットの後「渡り初め」となり、彬子女王殿下には正に「左右に分かれた天神様への近道」を一番にお上り頂きました。恐れながら私がご先導申し上げましたが、女王が本殿にお入りになったその時、大床に昇る階にある八つの飾り金具が放つ、これまで見たことのない神々しい輝きに私は「はっ」と息を呑んでしまいました。その輝きは単に煌めいているというものではなく、深い金色で全てを包み込む，唯一無二の輝き，でありました。言葉では尽くせませんが、私は瞬時に防府の天神様が彬子女王殿下のお成りをこの上なく「お喜び」になっていらっしゃると悟り、同時に彬子女王殿下の尊い御存在が映し出されているのだと直に実感したのでありました。

この時ほど神様のご存在とご皇室の有難さを目の当たりにしたことはありません。宮司となって三十年目の今年の「春」は私の一生の宝物となりました。

※本ページの天地に掲載した（重文）松崎天神縁起絵巻は、全六巻計約 75 メートルにおよびます。本号ではその■の部分を紹介しています。

第六巻 9m20cm　第五巻 13m31cm　第四巻 12m12cm　第三巻 13m80cm　第二巻 14m30cm　第一巻 13m10cm

令和九年菅原道真公
御神忌千百二十五年式年大祭奉賛会

第三回総会開催

四月二十五日、総裁をはじめ奉賛会役員、総代、奉賛会会員等八十二名にご出席いただき、標記総会を開催致しました。議事では会則に則り羽嶋会長が議長を務め議事が進められ、奉賛会を構成する六つの部会より一年間の事業活動と今後の予定が報告されました。引き続き会計報告と監査報告が行われ全員の拍手をもって承認されました。

閉会後は、近年竹害が問題視される中、竹を利用し人や環境にやさしいものづくりを目指すエシカルバンブー㈱代表取締役社長の田澤恵津子先生による記念講演が行われ、パワフルなお話に参加者は熱心に聞き入っていました。

▲田澤恵津子社長は「竹を総合的に活用した未来を創るエシカルなものづくり」と題し、最新の技術を取り入れて竹をタオルに加工する取り組みなどを紹介し、“竹害は竹財”であるとお話頂いた。

各部報告

◆総務部会

脇正典部会長

大祭に向けて県内天神講の調査を進めている。成果をまとめ天満宮の歴史的価値を高めていきたいと説明した。

◆募財部会

嶋本博部会長（一般募財）
白石民彦部会長（氏子募財）

募財活動は順調に進んでいる。しかし、記念事業が増えたことと物価高騰等などの影響により、大祭予算を二億七千万から三億円に修正した旨を説明し、承認された。

◆広報部会

板村至部会長

広報活動の一つして「鰻せんべい」などの開発成果や新たに境内回遊に繋げるため「重ね捺しスタンプ朱印」を作成した旨が報告された。

◆祭典部会

村田敏夫部会長

大祭期間中の祭典をはじめ、参拝者に対するおもてなしについても担当する旨を説明した。

◆事業部会

小松宗介部会長

記念事業の進捗を説明し、社殿の塗り替えや賽銭箱の奉納（四、五頁参照）について説明報告を行った。

◆行事部会

山根耕太郎部会長

大祭期間中は三十七の記念行事を行う予定の旨説明。その一つ「写真コンテスト」については、防府市が取り組むインバウンドの推進に寄与できる取り組みを行うと説明した。

御神忌千百二十五年式年大祭御奉賛状況

御奉賛有難う存じます　（令和六年十一月十六日～令和七年四月三十日現在・正会員以上・敬称略順不同）

〈名誉会員〉

二百三十万円
白石　民彦

二百二十二万円
㈱ハイグローブ

二百万円
小松　宗介

百万円
柴屋㈱
和泰興業股份有限公司
㈱ロータリーコーポレーション
㈲協同産業
㈱ビークルーエッセ
朝日食品容器㈱
㈲マルイチ
西日本イシダ㈱
㈱あじかん
㈱佐々木冷菓
㈱エフピコ
備後漬物㈱
㈲マルヨ
原　孝夫
広島共和物産㈱
坂田　義矢
㈲正田金物
京都奉製㈱

〈特別会員〉

五十万円
徳林工業㈱
㈲中川不動産
平野　禮子
平野　正人
平野　俊二
㈱リノア
阿部　孝昭
石田兵衛㈱

〈有効会員〉

三十万円
ザイムプレーン㈱
岡崎木材工業㈱
㈱シマヤ

二十六万四千円
㈲和建築設計事務所

防府市宮市町
宇部市野原
防府市田島
大阪市中央区
台北市内湖區
防府市浜方
防府市駅南町
周南市新地
呉市築地町
防府市鈴屋
防府市桑山
広島市西区
北松浦郡佐々町
福山市曙町
福山市駅家町
防府市駅南町
防府市岸津
広島市西区
宇部市小串
防府市西浦
京都市左京区
山口市徳地
防府市八王子
町田市成瀬台
町田市成瀬台
渋谷区千駄ヶ谷
防府市下右田
防府市戎町
防府市江泊
防府市警固町
山口市小郡
周南市都町
防府市駅南町

二十万円
防府中央ライオンズクラブ
安村　吉藏

十六万円
中林　堅造
岡本　龍義
㈱天神通り整骨院
緑町自治会
山根　伸太郎

〈正会員〉

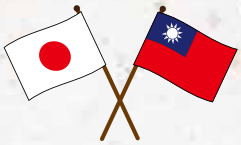
九万円
㈱都屋

八万円
竹中　信雄

五万円
国分寺自治会
山根　達彦
國弘　次郎
安村　栄治
藤井　聖男
藤井　寛男

三万円
犬塚　要二
清水　喜香
清水　博行
渡邉　哲郎
横尾　敏弘
横尾　尚美
清水　雅章
清水　正信
末冨　照美
㈱さくらい
今井　宏昭
今井　智子
伊藤　陸人
上司　博人
藤村　祐希
増野　美智江
増野　恵美
小泉　恵里奈
ASCASA PLUS㈱
富田　万津
北村　光子
大腸クリニックかわむら内科
古松　幸雄

防府市松崎町
防府市八王子
防府市千日
防府市東松崎町
防府市上天神町
防府市天神
廿日市市津田
福岡市中央区
防府市中西
防府市国分寺町
防府市駅南町
防府市宮市町
防府市八王子
防府市国衙
防府市国衙
防府市鋳物師町
防府市牟礼
防府市牟礼
防府市緑町
防府市華城中央
防府市華城中央
防府市牟礼
防府市牟礼
防府市新田
防府市戎町
つくば市並木
つくば市並木
防府市東松崎町
防府市南松崎町
防府市三田尻
防府市戎町
防府市戎町
紋別市渚滑町
神戸市中央区
防府市八王子
東彼杵郡波佐見町
防府市高井
防府市東松崎町
以上



御神忌千百二十五年式年大祭記念

彬子女王殿下御台臨

台湾嘉義縣製作 阿里山檜賽銭箱奉納報告会並渡り初め式

主催／防府商工会議所

三月二十二日、畏くも三笠宮家の彬子女王殿下の御台臨を仰ぎ、賽銭箱奉納報告会並びに渡り初め式が防府商工会議所主催により一五〇名（内台湾から六十名）のご出席を賜り厳粛に執り行われました。

賽銭箱奉納の経緯

当宮責任役員で大祭顧問を務められる㈱丸久の田中康男社長は嘉義縣のパイナップルをはじめ台湾との貿易を盛んに行い日台友好にも尽力されておられます。旧来より親交のある台湾・嘉義縣の翁章梁知事が賽銭箱改修式年大祭事業にご賛同下さり、嘉義縣の地元農業・林業関係企業の協賛のもと実現致しました。更には防府天満宮と台湾のご縁は深く、五百年に亘り当宮の崇敬者である上山家一族の一人上山満之進翁は日本統治時代の第十一代台湾総督として活躍しました。また当宮昭和二十七年火災からの再建には台湾檜が使用されています。このように目に見えない糸でも結ばれていました。

▲おことばを述べられる彬子女王殿下

▲女王殿下と会場全景

神社の力を地域の発展に

神社の興隆と地域の元気は密接です。何故なら神社は老若男女を問わず集える地域社会の中心にあるからです。

㈱丸久では企業理念である「地域社会に貢献する」ことを実践してこられた中で、田中社長は防府天満宮の発展を社会貢献のひとつと考えておられます。これまでも災害用備蓄水として「防府天満宮の水」を奉納、また市民に親しまれている節分祭牛替神事にも大きなご協賛を頂いております。そしてこの度は御神忌千百二十五年式年大祭奉賛会では顧問に就任頂き、これまでの台湾嘉義縣との関係を活かし「阿里山檜賽銭箱」を製作奉納されました。これらに対し多くの方々から「素晴らしいことをされましたね」との賛美の声が届いています。

防府天満宮ではこれらの奉仕奉納の一つひとつを神社の力とし、その力が地域の発展に繋がるよう日々努力をしていくことが神社としての使命だと考えています。

▲翁章梁嘉義縣長

▲田中康男丸久社長

▲毛利元敦毛利報公会会長

奉納報告会並渡り初め式次第

一、開式　中村元彦副会頭
彬子女王殿下ご入場ご着席
一、式辞　毛利元敦 毛利報公会会長
一、祝辞　村岡嗣政 山口県知事
　　島田教明 山口県議会副議長
　　翁章梁 嘉義縣長
一、彬子女王殿下おことば
一、謝辞　鈴木宏明 宮司
一、テープカット並びに賽銭箱を開く
　　記念写真撮影
彬子女王殿下による渡り初め
　　殿内にお進み頂き一礼
彬子女王殿下御立ち
一、奉納の経過報告　羽嶋秀一 会頭
一、来賓紹介
一、祝辞　池田豊 防府市長
一、挨拶　㈱丸久 田中康男社長
一、感謝状贈呈
一、閉式　古閑謙士副会頭

台湾嘉義縣知事
翁 章梁 様

株式会社丸久社長
式年大祭奉賛会顧問
田中 康男 様

山口県立大学理事長
式年大祭奉賛会顧問
岡 正朗 様

防府天満宮宮司
鈴木 宏明 様

臺北駐日經濟文化
代表處
蔡 明耀 様

彬子女王殿下

山口県議会副議長
島田 教明 様

毛利報公会会長
式年大祭奉賛会総裁
毛利 元敦 様

防府市長
池田 豊 様

山口県知事
村岡 嗣政 様

防府商工会議所会頭
式年大祭奉賛会長
羽嶋 秀一 様

▲通常の賽銭箱位置。両開きになることで、結婚式や花神子社参式など祭典で正面より参出入が可能になりました。

▲宮司がご先導申し上げ、女王殿下は天神様への一番の近道を渡り初めあそばされました。

同日「心游舎講座」講演会開催 於参集殿

彬子女王殿下が総裁をお勤めでいらっしゃる「心游舎」は、「日本の未来を担う子供たちに本物の日本文化を伝え、日本の伝統文化が生き続けることができる土壌を形成すること」を目的とした団体です。彬子女王殿下御自ら出向かれて、全国各地で子供たちが日本の伝統文化を体験するワークショップの主催、あるいはプログラムを提供されています。当日、当宮においてのプログラムは、元小学館「日本国語大辞典」編集長の神永曉氏が「日本語は生きている」と題し講演。国語辞典の種類やことばの歴史、現代における略語、山口の方言などについてのお話を高川学園高等学校の30名の生徒が熱心に聴講しました。

こころのふるさと 防府天満宮

～柳井天満宮春季大祭調査を通して～

はじめに

柳井市天神に鎮座する菅原神社（通称：柳井天満宮）は「元禄二年（一六八九）領主吉川公の家来であった貞末宗故（さだすえむねとし）が命により大阪へ出向した折、大阪天満宮へ参拝したが、気が付くと履いていた下駄の歯に道真公の木像が挟まっていた。そこで、その木像を持ち帰り元禄十年（一六九七）柳井に社殿を建立、木像を安置し柳井天神社と称した」という独自の創建由緒を持つ。

▲柳井天満宮例大祭当日早朝のご社殿
令和7年4月25日

①例大祭に付加された御神幸行列

柳井天満宮の例大祭は、古くは毎年二月二十五日に斎行されていたが、明治六年に大祭日を陽暦四月二十五日に変更し、その年より御神幸の行列が始められたという。その経緯は「柳井の中野町に住む中村梅吉と森脇清兵衛という者が、明治初年江戸へ出稼ぎに出た。江戸で各地の大名行列が勢揃いした際、両名は人夫として雇われ行列に加わった。その後柳井に帰った二人は、江戸の大名行列になぞらえた行事を、地元天満宮の例大祭に取り入れた。当初は女の子に赤い着物を着せて手車に乗せ、金棒や箒、先箱などをもって数人が天満宮へ行列を組み参拝をするのみであったが、これが次第に発展し、明治二十年頃から大行司、小行司が含まれる行列になった」と言われている。

②柳井天満宮の大行司（だいぎょうじ）・小行司（こぎょうじ）について

防府天満宮の天神講調査によると防府天満宮以外の多くの天満宮では、大・小行司役の「行司」は「行事」の文字を当て、読みは「小行司」を「しょうぎょうじ」とする場合が多い。しかし柳井天満宮の場合は「行司」であり「こぎょうじ」の呼称を使っている点は特徴的である。

『柳井市史　各論篇』に「主として宮市（防府）天満宮の神事行列を参酌している」と記載があり、防府天満宮の御神幸行列に倣っていることが分かる。しかし人選については防府天満宮のように御籤上げ（神事）によるものではなく、明治二十六年の柳井津町議会に、「柳井町祭として大・小行司は十八の区が交代で行う事になった」との記録がある。地元地域での持ち回りでお役目が決められ、地元の有力者が担うことが多かったという。現在では奉仕者は柳井天神春まつり実行委員会にて決定され、小行司は子供が、大行司は大人がそのお役目を務める習わしとなっている。

柳井天満宮の大・小行司の特筆すべき点として、大行司より小行司が優先されることが挙げられる。小行司は扇を持ち、冠を付け、金襴の装束を身に

▶「竿衣」と「お守り袋」
大行司、小行司は防府天満宮と同様行列の責任者である。それ故大行司は「竿衣」を身に着け、両行司の首からかける「お守り袋」の中には柳井天満宮のお札が収められている。

着け、玉串などもすべて小行司が先に行う。三宅孝宮司によると大行司は地元の有力者の立場であるが、小行司は公家の立場なので小行司が優先されるという。

大・小行司は町の有力者が担うだけに優劣をつけられなかったのかもしれない。そんなおとなの事情も透けて見える。

③柳井天満宮例大祭における夜参り・お宮入りそして御神幸

例大祭前日には祭典の成功を祈る「夜参り」が執り行われる。先祓、金棒、先箱、毛槍、刀持、諸太夫、刀持、小行司、刀持、諸太夫、刀持、大行司の順番で行列を組み、柳井の白壁の町中を練り歩く。柳井天満宮に到着すると、金棒が参道の左右に立ち、中央を刀持、諸太夫、大・小行司が参進し、御殿へ入り夜参りが行われる。夜参りは、まず宮司によるお祓いがあり、宮司、小行司、大行司の順で玉串拝礼する。最後に総代が、各お役目に「夜参り」のねぎらいと、翌日の例大祭の奉仕のお願いをする。

▲柳井天満宮の御網代輿
昔は牛が御網代輿を引いていたが、現在では稚児が引いている。裸坊は存在していない。

▲御神幸行列は主に三つの部によって担われている。天満宮での祭典を取り仕切る「神事部」(柳井天満宮総代会と一寸奉仕の会)、御神幸行列を取り仕切る「行事部」(柳井商工会議所と柳井青年会議所)、奉仕者の衣装や化粧を取り仕切る「衣装部」(柳井天満宮一寸奉仕の会女性部)、の三組織である。加えて、地元の商店街など多くの方からの協力を得ながら、御神幸行列は盛大に斎行されている。
※一寸奉仕の会とは柳井天満宮の奉仕団体である。

例大祭当日には早旦より御網代の蔵出しが行われる。午前十時半より大・小行司をはじめとした各お役目がお宮入りをする。この際も夜参りと同様に金棒が参道の左右に位置し、中央を各お役目が参進する。

「お宮入り」の後、柳井天満宮例大祭(本殿祭)が斎行される。本殿祭の中で御網代輿へ天神様の御神霊が遷され、柳井天満宮のお札を入れた「お守り袋」が宮司より大・小行司へ授与される。

④氏子を持たない天満宮

この御神幸には御旅所と神事が存在しない。古くはどうだったのかは資料も見つからず、宮司にも分からないとのことだった。察すれば近世に創建された天満宮は氏子を持たないのが通例である。以前調査した厚狭天満宮(寛永二年創建)の場合も天満宮と氏神様の関係として「神幸する前には必ず氏神様に挨拶する習わし」があったが、同様に御旅所を持たないのも、氏神様に対する謙虚な態度の表れと言えるのではなかろうか。

現在では、柳井天満宮を出発して柳井商工会議所まで町中を練り歩き、柳井天満宮へと帰ってくる。この道順については何度も変更があったという。柳井天満宮が地元の商人からの崇敬が厚かったこともあり、昭和後期までは、商店街があった場所など商いが盛んな地域を通っていたという。

おわりに

柳井地域でも農業を中心に牛馬を飼育する山地部では天神様を勧請したお社が多い。主として宮市(防府)天満宮の信仰が強く、各地に天神講が設けられた地域でもあった。その点、柳井の町部は「ご創建の起源が商いの町大阪である」また「大・小行司は有力者が担う」といった点から商業者がまつりの担い手であることが大きな特徴と言える。

柳井は商業を中心に江戸期に大きな発展を遂げた町である。柳井天満宮は氏子を持たないが、古くから町の発展を担った柳井の商人をはじめとする地元の協力を得てきた。柳井天満宮の御神幸行列は元の例大祭に付加されたかたちで防府天満宮に倣いつつも、商いという独自の物語があり発展し、大切に受け継がれている。

キットカット受験生応援キャンペーン2025 in防府天満宮

AIさん ミニコンサート & ドローンショー

●あなたは〝ひとりじゃない〟

令和七年一月一日、歌手AIさんのコンサートが行われました。受験生をはじめ多くの参拝者が見守る中、代表曲「ストーリー」や受験生応援ソング「ワレバ」を熱唱され、境内は大いに盛り上がりました。

AIさんは歌手になることを夢見て中学校卒業後に単身渡米、アートスクール（アーティストを目指す人が集まる学校）に進学しますが、初めての一人暮らしや慣れない異国の環境に大変苦労されたそうです。そんな中でゴスペルに出会い、「一人じゃない」「絶対に大丈夫」など前向きな歌詞に励まされ、学校でも先生やクラスメートに救われて日々の生活が充実し、無事に卒業することができたそうです。

そんな経験を踏まえ、「一人じゃない」の歌詞が印象的な「ストーリー」には、お世話になった方々に自分がどれだけ返せるのか、どうすれば「ありがとう」以上の感謝の気持ちを伝えられるのかという思いを込めたと、テレビ番組で語っておられました。日々の生活はさまざまな「おかげさま」で成り立っており、何事にも先ずは感謝の心を持つことは神道にも通ずるものがあります。

●合格はちまき ～先輩達の応援メッセージ～

不安や緊張と戦う受験生はともすれば孤独な思いにとらわれがちです。そんな思いを少しでも取り払いたい、どうにか受験生の力になりたいと当宮が始めたのが合格はちまきでした。このはちまきは願意が叶った受験生が後輩にメッセージを書き込んで返納し、巫女が洗濯をして次の受験生に長きにわたって繋いできました。はちまきに携わった多くの人の力を添え、受験生を応援してきた当宮と、受験応援グッズの元祖とも云われるネスレ日本㈱様と協働して受験生を後押しできたことは、言わば必然の繋がりでありました。あなたは一人じゃない。天神さまのご加護のもと

#キットサクラサクよ

※合格はちまきは年間を通して社頭で無料配布しております。郵送での申し込みも可能です。詳細はこちらのQRコードをご覧ください

▲返納された合格はちまきは次の受験生へ繋げられる

▲大石段に描かれた折り鶴の花回廊

▲AIさんのコンサート 於 春風楼

▲1,000機のドローンにより「防府天満宮 菅公1125年 式年大祭」の文字で元日の夜空を彩った

▲受験生や参拝者の願いが込められた折り鶴

▲奉納されたキットカットは合格はちまきと共に受験生に配布された

寄稿

ネスレ日本株式会社

佐藤　由樹

初夏の爽やかな風が心地いい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。私はネスレ日本株式会社で「キットカット」のマーケティングを担当しております。「キットカット」は、九州の方言「きっと勝つとぉ」（きっと勝つよ！）が商品名と似ていることから、一九九〇年代後半以降、自然発生的に受験生のお守りとして広まり始め、「キット、サクラサクよ。」を合言葉に二十年以上にわたり受験生に寄り添う活動を展開しております。そして今年一月一日、防府市後援のもと、多くの受験生に慕われてきた防府天満宮で「受験生応援ドローンショー」を開催させていただきました。ドローンショーでは一〇〇〇機のドローンが巨大な鶴や満開の桜、受験生への応援メッセージを描き、元日の夜空を彩りました。ドローンショーの前には歌手のAIさんにCMソング「ワレバ」等を披露していただきました。今回、私たちにとっても初めての取り組みでしたが、多くの皆様のご協力のもと、防府天満宮というこれ以上ない特別な場所で開催することができました。この場を借りて御礼申し上げます。「合格はちまき」には、受験生への応援メッセージが書き込まれています。私もかつて「キットカット」を食べて勉強に励む受験生の一人でした。これからも「キットカット」を通じて、「合格はちまき」のように受験生への応援をお届けすることで、少しでも受験生の心の励みになることを目指してまいります。

崇敬会だより

「第二十四回崇敬会大祭並総会」

去る五月一日、岡正朗会長以下三十三名の参加のもと標記大祭が斎行されました。天神様も皆様のお顔を拝見され、さぞお喜びの事と拝察申し上げます。

総会では防府市の鈴木典子様に二十回、また防府市の末永哲子様に十回参加の表彰がありました。

その後、名誉会長の福田百合子先生より「天満宮と私」と題し講演を頂き〝裸坊と外郎〟といった曾祖父から繋がる天神様とのご縁など楽しいお話を拝聴させていただきました。御年九十七歳の先生は講演頂いた四十五分間立ったままお話しされ、そのお元気な姿にも感動致しました。

▲祭典後、参列者と楼門前にて

新規会員紹介

令和六年十一月一日以降入会の方々です。（順不同敬称略）

法人会員
㈱藤井販促企画室　防府市天神

特別会員
小田村　初男　神奈川県三浦郡

家族会員
佐々木　達也　防府市高井
田村　直弘　防府市岸津
松見　慎之介　広島県東広島市
志岐　浩二　福岡県春日市
河野　晃子　防府市富海
林　高士　防府市華城中央
内田　道延　防府市上右田
藤野　剛良　徳島県板野郡

個人会員
栗尾　涼子　岡山県浅口市
中井　陽子　防府市石が口
金井　岳春　群馬県太田市
山本　眞人　熊毛郡田布施町
勝根　寛子　光市三輪
関　勝美　防府市平和町
田中　和利　防府市田島
高沖　正和　広島市西区
大村　照幸　防府市多々良
飯田　裕美　防府市自由ケ丘

崇敬会入会をご希望の方は、同封の入会案内を御覧の上、お申し込み頂きますようご案内申し上げます。

ご結婚おめでとう

お二人の末永いお幸せをお祈り致します

令和7年（神社挙式分／敬称略）

2月22日　長浴　考亮・愛美
3月1日　山中　悟史・麻佑里
9日　後藤　惣一郎・愛子
15日　吉金　伸洋・由希
岡本　尚樹・真由
弘津　考一・美羽
古屋　栄一・亜紀子
16日　崎村　亮介・望美
27日　福田　総一郎・公美子
4月3日　岩本　弘司・真帆
12日　大野　哲・美希
13日　末富　裕太郎・彩花
20日　岩本　宥哉・絵理菜
27日　水津　雅史・琴美
5月5日　林　健太郎・真央
射手園　茉哉・紗綾
橋爪　裕宜・加織
11日　三原　収・美香
25日　大上　涼・優菜
倉本　雄貴・千尋

※神前結婚式のお申込みは随時受付けておりますので、社務所へお問い合わせ下さい。（TEL0835-23-7700）

第三十五回（令和六年）天神おんな神輿写真コンテスト

防府天満宮賞
題「燃え尽きてこの一瞬」　防府市天神　上杉（うえすぎ）　沙織（さおり）

山口県知事賞
「うまくたたけるかな？」　佐賀県鳥栖市　中村（なかむら）　学（まなぶ）

山口県議会議長賞
「あっぱれ！あっぱれ！」　防府市田島　吉野（よしの）　由恵（よしえ）

防府市長賞
「子想うやさしい眼」　下関市長府　志岐（しき）　俊広（としひろ）

防府商工会議所会頭賞
「銀座商店街へ」　防府市佐波　玉井（たまい）　大介（だいすけ）

防府観光コンベンション協会会長賞
「注　視」　山口市大内　岡本（おかもと）　公一（こういち）

防府天神祭振興会会長賞
「MAXボルテージ」　防府市勝間　藤田（ふじた）　聖治（せいじ）

（敬称略）

その他　入選作品　三〇点
応募総数　一一二点（応募者四十一名）
たくさんのご応募有難うございました。

社務所だより

天神様の冬から春

節分祭牛替神事

を斎行。当日心配された雨も上がり、三十四名の歳男・歳女による「開運招福豆まき」が行われ、春風楼前は多くの参拝者で埋め尽くされました。

豆撒きは以前より参拝者が多過ぎて「福豆が届かない」とのお声を頂いておりました。そのお声を受けて、拾えなかった参拝者には巫女が手渡しで頒布してきました。しかし、それでも不十分であった為、本年より豆撒きを三回から四回（十四時・十五時それぞれ前班後班）に変更し、撒く側、拾う側にも好評を得ました。これからもより多くの参拝者に福豆が行き届くよう努めて参ります。また、牛替神事では本年より宇野好一総代長のご協賛により大祭ＰＲにと記念の総代長賞闥（現金十万円）が創設されました。尚、「仁のくじ」御神幸祭「神牛役」当選者は左記の通りです。

▲「仁のくじ」
令和７年御神幸大祭
「神牛役」
田村直弘氏（防府市在住）

日誌抄

（令和七年一月～五月）

毎月１日、15日、25日は月次祭
毎月１日は朔日詣り（朝粥会）
毎月25日は天神市（縁日）、神道家月次祭まほろばかふぇ

1月1日　歳旦祭、歌手ＡＩさんキットカットミニライブ・ドローンショー
1～3日　書き初め会、梅茶接待
1～8日　天神おんな神輿写真展
5～7日　初詣企業参拝を参集殿神殿にて斎行
5日　釿始式
7日　七草粥の会（於参集殿神殿）
9日　一二三五年式年大祭奉賛会行事部会・募財部会
11日　貞宮遙拝式
13日　弓始式
15日　一二三五年式年大祭実行委員会
15日　防府天満宮の水（備蓄水）１００ケース奉納
16日　鳥取空港受験合格祈願大絵馬設置
米子空港受験合格祈願大絵馬設置
（12／19・20 山口宇部空港・岩国錦帯橋空港大絵馬設置）
19日　牛替神事奉仕抽籤児童説明会
24日　牛替神報新聞折込
25日　月次茶会表流稲田宗専先生ご奉仕、節分祭発展会議、新年役員会
25～26日　福豆頒布総代奉仕
28日　一二三五年式年大祭奉賛会広報部会
29日　裸坊二万人計画会議、**台湾より新賽銭箱が到着**
2月1～2日　**節分祭並第一一四回牛替神事**
歳男歳女開運招福豆まき並奉告祭、抽籤児童奉告祭
3日　立春梅開花宣言
3～10日　牛替神事福運者当籤番号券景品引換
（3～4日総代景品交換奉仕）
7日　敬神婦人会役員会
9日　第49回防府お針祭
10日　牛替神事神牛当籤奉告祭・神牛引渡し式
11日　紀元祭、人形感謝祭人形受付開始（2月29日迄）、福岡県二日市八幡宮崇敬会21名様正式参拝
12日　総代就任奉告祭（三行事区）
13日　出世梅奉製作業総代奉仕
2月16日～3月2日　第二十回梅まつり
（期間中土日敬神婦人会甘酒接待）
16日　梅まつり始祭稚児舞紅わらべ奉納、出世梅無料配布
21～23日　平井佳代布小もの作品展、手作りアクセサリー O.Lei～アナタニハナヲ～
22日　幸せ写し隊着物モデル撮影会
22～23日　池坊防府支部奉納生花展、櫻園山城屋茶舗京の陶磁器展、花結び展装道礼法きもの学院山口県
23日　総代就任奉告祭（二行事区）、梅花祭稚児舞紅わらべ奉納、出世梅無料配布・山縣酒造梅酒試飲会、

1月29日　台湾檜製賽銭箱　一基　**台湾嘉義縣政府様**

▲当日早朝、門司港より天満宮に到着しお祓い致しました。

天神様から「幸せます」

※幸せますは山口の方言で「ありがたい」「嬉しく思う」との意味があります。

境内清掃奉仕等　ご奉仕ありがとうございました。

3月16日（大専坊）　**龍美女太鼓様**
4月25日（花ガラ摘み）　**マツダ㈱防府工場様**
5月2日他（花ガラ摘み）　**敬神婦人会様**
4月29日他（花ガラ摘み）　**佐波中学校様**

ご奉納ありがとうございました。

毎月25日　濁り酒（どぶろく）[25]　**どぶろくカフェみずは様**
12月18日　国沢和衛画 油絵 三点　**国澤和彦様**
12月16日～キットカット千個（境内配布）　**ネスレ日本㈱様**
1月1日　清酒「貴」一ケース　**永山本家酒造場様**
1月15日　防府天満宮の水（備蓄水）１００ケース　**㈱丸久様**

▲2月12日
野村望東尼真筆屏風　半双
市内 厚志者様

▶屏風には、望東尼直筆の手紙と和歌短冊８枚がある。写真（右）はその一部。

御正祭（御神忌一一二三年）

▲直垂（ひたたれ）姿の宮料理人中島英晶氏（日本料理「中しま」社長）が平安時代の食事を御神前にお供えし、御神霊をお慰め致しました。

第十三回大石段花回廊

▶今年の大阪万博開催に併せ、「EXPO」の文字を取り入れた「幸せます」の花文字。佐波中学校花がら摘みボランティアの皆様

3月1日 梅まつり茶会表流令月会ご奉仕、萌えぎ会琴演奏会、天神芸術村
1～5日 牛替神事発展会議
2日 神道家まほろば会研修旅行24名参加（廿日市市速谷神社）
人形感謝祭
人形里親探し
4日 出世梅無料配布・山縣酒造梅酒試飲会、広島県神社三次総代連合会16名様正式参拝
6日 一一二五年式年大祭奉賛会三役会
12日 責任役員会、一一二五年式年大祭奉賛会合同部会、新賽銭箱設置に伴う拝殿階段改修工事開始
20日 野村望東尼真筆屏風奉納奉告祭
22日 春季祖霊大祭
彬子女王殿下御台臨台湾嘉義縣製作阿里山檜台湾産檜賽銭箱奉納報告会並渡り初め式、心游舎講演会、賽銭箱奉納報告祭
23日～4月6日 さくら咲まつり（15日～5月15日合格御礼祭）
25日 さくら咲まつり始祭
春祭、総代会、桜開花宣言
29～30日 さくら咲まつり食と花の祭典（於天神山公園大駐車場）
30日 元F1レーサー片山右京氏参拝
28日 一一二五年式年大祭奉賛会事業委員会、御旅所工事合同会議

4月1日 **御神忌一一二三年御正祭**
3日 新入学児童勧学大祭稚児舞紅わらべ奉納、防府音楽祭スプリングセミナー文化財チャリティーコンサート（春風楼）、社殿塗替え工事開始
5日 勝牛杯氏子対抗ゴルフ大会
6日 防府菊花会総会並正式参拝
8日 茶筌祭並華月会茶会、天神芸術村
10日 山口県神社庁正副庁長正式参拝
12日 総代就任奉告祭（九行事区）
13日 総代就任奉告祭（三・四行事区）
14日 酒垂神社例祭
15日 式年大祭奉賛会監査役会、敬神婦人会役員会
18日 一一二五年式年大祭実行委員会
第13回防府天満宮大石段花回廊約700鉢設置（5月6日まで。期間中花ガラ摘み等奉仕：敬神婦人会、マツダ㈱防府工場、佐波中学校）
20日 毛利家春祭、大小行司同族会正式参拝並評議員会
22日 岩国市高森天満宮総代会様正式参拝
25日 御神忌一一二五年式年大祭奉賛会第三回総会
崇敬会大祭並崇敬会総会
広島工業大学高等学校213名合格祈願祭
5月1日 花回廊プランター販売
2日 南海キャンディーズ山里亮太様参拝
6日 大小行司同族会総会
10日 福岡県太宰府天満宮氏子会20名様正式参拝
11日 神仏合同奉仕金鮎祭、金鮎祭奉祝茶会裏千家高橋宗正先生ご奉仕
13日 敬神婦人会総会
15日 会計監査
16日 御神幸祭供奉員会総会並正式参拝、防長海軍忠魂碑慰霊祭並奉納剣道大会
22日
25日

2月16日 「出世梅酒」二ケース
3月22日 台湾紹興酒十二本・台湾パイナップル六個
㈱山縣本店様
台湾嘉義縣政府様
5月7日 「奉謁 防府天満宮」詩書一幅
菅原 滿様

新任総代のご紹介（敬称略）宜しくお願い致します

中村 育徳（三行事区） 二月十二日付
石原 陸（二行事区） 二月二十三日付
古松 幸雄（九行事区） 四月九日付
村田 聡（三行事区） 四月十二日付
岡本 卓麿（四行事区） 四月十二日付

職員人事 宜しくお願い致します

昇進（三月十五日付）

権宮司

鈴木 英樹

権宮司を拝命して

この度、神社本庁より権宮司に任命されました。

当宮では、令和九年に二十五年に一度の「御神忌一一二五年式年大祭」を迎えます。この大祭は、当宮の歴史と伝統を後世に伝える重要な節目であります。氏子崇敬者をはじめ、地域の為に宮司を扶け、祭祀の厳修と御神徳の発揚に微力ながら取り組む覚悟でございます。

浅学非才の身ではございますが、大祭の成功と当宮の更なる発展のため、誠心誠意努力してまいります。どうか今後とも倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新任（四月一日付）

巫女

渋田 璃奈（防府市出身）

園丁
渡邉 武士（防府市出身）

令和7年　夏・秋　これからの祭事行事

六月三十日(月)

十三時～禍除祈願祭
※受付場所／客殿　初穂料八千円
十四時～御田植祭
並びに輪くぐり神事
十六時～夏越大祓
※御田植祭終了後、苗はお持ち帰り下さい。その際はご自身でお取り頂きます。

▲輪くぐり神事
※同封の案内状をご覧いただきご参加ください。

七月一日(火)～七日(月)

七夕まつり
～祭事予定～
七月一日～七日　回廊内笹飾り、光の斎庭(ゆにわ)
六日　筆まつり・七夕書道展表彰式他、
七日　七夕祈願祭
※同封の短冊にお願い事を書いてご奉納下さい。神職、巫女が竹笹に結び願いが叶うよう祈念いたします。

▲光の斎庭(傘玉)

八月二日(日)～五日(火)

御誕辰祭　～御祭神「菅原道真公」のお誕生日をお祝いするお祭り～
～祭事行事予定～
二日～五日　万灯の夕べ、献灯・
文芸ボンボリ・ビアガーデン他
三日　奉納清書展奉納奉告祭並表彰式、万灯祭、剣道大会
四日　豊穣祈願祭、古武道大会、柔道大会、
夫婦円満祈願祭
五日　御誕辰祭当日祭、少年剣道大会、
弓道大会、大花火大会

御誕辰祭献灯ボンボリ奉納のお願い
ご奉納頂ける方には要項をお送り致しますので、社務所にお問い合わせ下さい。
※ホームページからもお申し込み頂けます。

▲大花火大会

▲献灯ボンボリ

九月六日(土)

鈴虫放生祭(野村望東尼顕彰会共催)
平成二十八年(野村望東尼没後百五十年)より縁ある大専坊にて望東尼の御神霊をお慰めすると共に望東尼の顕彰と鈴虫坂の由来となった鈴虫の放生を行います。
※鈴虫坂…境内西側の坂の通称。勤王の母と呼ばれた望東尼が戦勝祈願の為に大専坊に宿泊した際に美しい鈴虫の音色を聞いたことに由来します。

▲鈴虫の放生

十月十二日(日)　十月第二日曜日

花神子社参式
～大行司・小行司役が御神幸祭の無事斎行を祈る～
大行司・小行司役が醸した一夜御酒を花神子をして奉献する社参の式であり、約五〇〇名にも及ぶ優美な時代行列が本陣から社殿まで粛々と進みます。

十一月二十二日(土)　十一月第四土曜日

御神幸祭(裸坊祭)
～菅公に「無実の知らせ」をお伝えし御心をお慰めする壮大なお祭り～

裸坊奉仕者・天神おんな神輿奉仕者募集中!
詳しくはホームページをご覧下さい。

一万人裸坊
奉仕を目指して!!
申込特設ページ近日開設

二十三日(日)

報賽祭(天神おんな神輿奉納)

十二月八日(月)～十一日(木)

大祓詞浄書会(四回開催予定)
五月三日～十月三十日

歴史館特別展
「没後百十年記念　井上馨の書」
井上馨は非常に多趣味で、茶の湯を好み、古美術品収集の数寄者としても名を馳せました。書も嗜んでおり、漢詩では伊藤博文、和歌では山県有朋には及びませんでした。しかし、洒落や滑稽を交える狂歌においてはこの二人を凌駕していると評されていました。この度井上の多趣味な一面を没後百十年の節目に企画いたしましたので、是非この機会にお越し下さい。

さかたり第115号
令和7年6月1日発行
発行所 防府天満宮社務所
〒747-0029
山口県防府市松崎町14-1
TEL 0835-23-7700
FAX 0835-25-0001

防府天満宮
1125年大祭
令和9年 春斎行

防府天満宮　検索
facebook　(旧Twitter)　Instagram